

JHL NEWS

No.17

2010年1月25日

●発行●
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・高村 誠一
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

女子“3強”がプレーオフへ! 男子・大同はシーズン1位決める

~第34回 日本ハンドボールリーグ・第16週~

第34回日本ハンドボールリーグは、1月23、24日の両日、第16週の戦いが行われ、前週（第15週）の男子に続き、女子も再開。広島、熊本などで男女各3試合が開催された。男子では首位を走る大同特殊鋼と勢いあふれるトヨタ車体がぶつかり、両者譲らず引き分け。プレーオフ進出の大きなカギとなる湧永製薬・トヨタ紡織九州の激突は、湧永が競り勝ち、残り試合を1つも落とせない大崎電気も琉球コラソンの挑戦を無難に退けた。女子は3強を形成するオムロン、北國銀行、ソニーセミコンダクタ九州が、それぞれ順当に8勝目をマークしてプレーオフ進出を決めた。

男子の車体・大同戦は双方が相手の退場機に連続得点を繰り返す一進一退の展開のまま後半へ。後半は堅いディフェンスからの速攻や門山の強打で6分、19-14と5点リードした車体に対し、大同は門山を密着マークするなどして車体の勢いを止めて追撃。25分、武田のゴールで26-26の同点に追いつき、岸川のサイドシュートで27-26と逆転に成功した。車体もこのまま引き下がらず、残り51秒、銘苅が7mスローを決め、27-27の同点でタイムアップ。エース白元皓を出場停止処分（1試合）で欠く厳しい一戦で勝点1をマークした大同が、レギュラーシーズン1位通過を決めた。

プレーオフ出場権をめぐり、激しい火花が散ったのは広島での湧永・紡織戦。高さとパワーの湧永、スピードと運動量の紡織と、攻守両面でお互いが持ち味を発揮して、試合は一進一退のまま進んでいった。試合が動いたのは、前半終了間際から後半立ち上がりにかけて。前半残り1分半、14-13と紡織1点リードの場面から、谷村のゴールで追いつき、山中、新の連打で16-14と態勢を入れ替えた湧永は、後半も谷村、東長濱による2連取スタート。紡織・中畠に1点を返されてからも東長濱、古家の連打で4分、20-15と5点リードを奪った。後半スタートで優位に立った湧永は、退場者が続いたピンチもダメージを最小限に食い止め、懸命に追いかける紡織の追撃を振り切って7勝目をマーク。湧永は残る2試合が地力で優る相手との対戦だけに、プレーオフ進出に大きく前進した。一方、敗れた紡織は勝点16のまま。熊本で前半22-10と早々に琉球を突き放し、勝点を17とした大崎とプレーオフ出場権を争うことになる。この決着は、最終の第22週に組まれている大崎・大同戦（3月7日）までもつれこみそうだ。

世界選手権、全日本総合選手権のブレイク期間が明けた女子は上位3チームが下位の挑戦を受けた。広島での広島メイプルレッズ・ソニー戦はソニーが前半で20-9、愛知でのHC名古屋・北國戦も北國が前半17-7と、女王・オムロンとしのぎを削る両チームがともに早々と勝負を決める充実ぶり。一方、三重で三重バイオレットアイリスと対戦したオムロンは、前半21分、11-6と主導権を奪いながら、守りでリズムをつかんだ三重に反撃を許し、12-12と同点に追いつかれて後半へ。それでもオムロンは後半、三重のミスを逃さず得点に結びつけ、主導権をキープ。藤間に代わった勝田が好守で試合を引き締めるなど、変わらぬ選手層の厚さも見せつけた。このままプレーオフ本番まで3強の争いが続くことは必至だ。

次の第17週は佐賀、鹿児島などで男女各3試合が組まれ、1月31日、鹿児島での女子・ソニー・オムロン戦がプレーオフ本番に直結する注目カードに。



①プレーオフ切符獲得に大きく前進した湧永製薬・GK松村 ②順当に8勝目をマークしたオムロン・石立

第17週の日程

1月30日(土)	石川	金沢市総合体育館(JR北陸本線金沢駅バス25分)	13:00～	(女)	北國銀行 × 広島メイプルレッズ
	佐賀	トヨタ紡織九州クレインアリーナ(JR長崎本線神埼駅車10分)	15:00～	(男)	トヨタ紡織九州 × 琉球コラソン
1月31日(日)	富山	高岡市竹平記念体育館(JR北陸本線高岡駅バス「高岡商業高校前」下車徒歩10分)	11:00～	(男)	北陸電力 × トヨタ車体
	三重	鈴鹿市立体育館(近鉄名古屋線白子駅バス「体育館前」下車徒歩5分)	14:00～	(女)	三重バイオレットアイリス × HC名古屋
	鹿児島	霧島市国分体育館(JR日豊本線国分駅徒歩20分)	13:00～	(男)	豊田合成 × 湧永製薬
			15:00～	(女)	ソニーセミコンダクタ九州 × オムロン

◆ 1月23日(土) 女子 広島・中区スポーツセンター				◆ 1月23日(土) 男子 広島・中区スポーツセンター				◆ 1月23日(土) 男子 熊本・熊本県立総合体育館			
ソニセミコンダ クタ九州 39 (20-9) 8勝0分2敗	24 19-15	広島メイプル レッズ 3勝0分7敗	K 中 島 9/13 郭惠靜 5/5 長野 1/1 高橋 3/6 田中 1/1 山田 0/2 2/2 儀間 6/7 高栖 0/0 川崎 5/10 黒木 <1/1> K 飛田 1/1 飯田 0/1 1/1 東 <1/1> K 伊地知	K <3/4> 堂 面 土 屋 村 山 河 田 大 前 植 垣 菅 野 伊 藤 五 月 女 横 田 安 齋 石 山 高 山 新 城	34 (16-14) 18-17 7勝1分4敗	トヨタ紡織 九州 7勝2分4敗	K 志 水 7/11 谷 村 4/5 木 村 0/2 坂 本 2/2 山 中 0/3 福 田 0/0 吉 田 1/2 名 嘉 3/6 新 0/0 武 藤 2/2 今 井 <0/2> K 松 村 3/4 古 家 2/3 10/12 東長濱	K <1/3> 松 野 中 島 西 端 村 上 直 村 上 秀 吳 相 民 佐 久 間 鶴 田 海 道 阪 6/6 谷 川 K 鈴 木 藤 山 石 黒 2/4	0/2 染 谷 2/3 小 澤 1/2 前 田 4/5 中 川 0/1 5/9 豊 田 3/7 望 月 1/1 永 島 4/5 太 田 4/5 橫 地 <1/2> K 東 1/1 森 0/1 5/8 岩 永 1/2 3/5 猪 妻 K 吉 田	久 高 村 山 水野矢 玉 城 池 田 志慶真 内 田 内 山 高 田 石 田 水野紀	0/0 6/12 1/1 5/8 0/1 0/0 1/4 2/6 K <2/2> 内 田 2/4 6/14 K <1/2> 4/7
1/4 38/52 13(FPP)7 審判 (北嶋・比留間)	24/54 0/4 観客 445人	2/3 32/49 13(FPP)3 審判 (浜田・小笠原)	29/47 2/2 観客 578人	1/4 33/53 10(FPP)8 審判 (浦川・石崎)	26/55 1/2 観客 797人						
◆ 1月23日(土) 男子 熊本・熊本県立総合体育館				◆ 1月24日(日) 女子 愛知・ブラザーワークス工業体育館				◆ 1月24日(日) 女子 三重・鈴鹿市立体育館			
トヨタ車体 27 (13-12) 8勝1分3敗	27 14-15	大同特殊鋼 11勝1分1敗	北國銀行 31 (17-7) 8勝0分2敗	H C 名古屋 0勝0分10敗	オムロン 28 (12-12) 8勝0分2敗	三重パワーリング トライアス 3勝0分7敗					
1/1 田 中 1/3 石 戸 1/1 佐々木 6/14 高 智 0/0 野 村 0/2 藤 田 1/3 北 出 <2/3> K 田 平 2/6 鶴 谷 <0/1> K 坪 根 0/0 香 川 2/3 0/3 銘 莜 6/9 門 山	田 中 野 村 末 松 浦 田 地 引 武 田 岸 川 高 木 K <1/1> 千々波 2/3 山 城 2/3 東 K <0/1> 趙範衍 0/0 松 永 0/0 渡久川 3/3	K 寺 田 1/3 鰐 場 2/3 8/12 上 町 1/2 宮 前 0/2 佐久川 0/2 川 井 2/3 中 村 7/8 横 嶋 1/2 野路良 K 田 代 2/5 仲宗根 2/1 井 上 6/8 若 松	近 藤 K <0/1> 1/3 鰐 場 佐 藤 0/0 1/2 宮 前 0/2 佐久川 0/2 川 井 1/2 横 嶋 1/2 野路良 外 本 0/2 上 野 3/4 高 橋 玲 1/6 家 城 K <1/2> 1/1 井 上 6/8 若 松	K 勝 田 2/4 城 内 6/8 高 田 2/4 卷 宮 0/0 市 村 3/3 4/7 藤 井 2/3 石 立 0/0 久 野 5/8 洪 廷 吳 1/2 勝 連 <0/1> K 藤 間 1/2 勝 連 0/0 吉 田 薫 3/4 東 濱	浅 井 K <0/3> 1/4 2/4 2/5 1/1 1/3 4/14 1/4 0/0 1/4 0/0 1/1 6/16 1/1 0/0						
2/3 25/52 12(FPP)7 審判 (黒木龍・黒木秀)	25/57 2/4 観客 950人	2/3 29/48 3(FPP)5 審判 (寺内・細川)	14/43 1/1 観客 425人	3/3 25/41 3(FPP)5 審判 (福田・富田)	18/51 1/1 観客 505人						



トヨタ紡織九州

私たちの強い味方! レットル応援団!!

ブレーOFF進出・優勝へ向け私たちと一緒に戦ってくれている応援団を紹介したいと思います。

◇筒井俊哉さん：サポーターと選手のパイプ役としていつも本音で厳しい言葉・優しい言葉をかけてくれます。自身もOBチームを作り県内の大会に出場し、優勝経験もありとの噂が。◇堤和彦さん：優しい顔から想像できないほどの力強い太鼓でチームを盛り上げてくれ、試合後には豆ができるほど。ご家族揃ってレットルファンです。◇大坪誠さん：観戦にこられたサポーターともすぐに打ち解け、一緒に応援できる環境を作ってくれます。自身もアラコ九州時代にプレーされていました。◇高山昇太さん：以前は、レットルの選手として戦っていましたが、現在は応援団長として一緒に戦ってくれています。盛り上げ隊長は現役続行中です。◇久保田航さん：試合当日は一番に会場に訪れ、応援の準備をしてくれます。大学時代は阪選手・村上秀選手・鈴木選手と一緒にプレーをしていました。

応援団について統括を担当されている筒井さんに質問してみました。
——応援団をはじめたきっかけは？

「佐賀は、Vリーグの久光製薬スプリングス、J2のサガン鳥栖、それからレッドトルネードと3チームが日本リーグに出場しています。

バレー・サッカーは言わずとも一般的な応援もすごいのですが、ハンドボールはちょっとマイナーなため、一般認知が低く寂しい限りでした。佐賀の日本リーグをさらに盛り上げようと応援団を発足しました」

——応援団をしてよかったと思うことは？

「皆さんの協力もあり、各地にサポーターが増えたこと」

——選手、サポーターの皆さんへ一言を

「選手へ：他チームと紙一重の力はついてきているので、後は気持ちだけ！目指せ日本一！サポーターの目は肥えているので気を抜いたプレーはしないこと。残り1秒まであきらめるな！」

サポーターの皆さんへ：みんなでこの一瞬を熱く燃えましょう！スポーツは何事もおもしろい！みんなで広げよう友達の輪っ!!」

レギュラーシーズンも残りわずか!!
チーム・応援団一丸となって最後まで戦い、一緒にブレーインフを行きたいと思います!!



男女個人ランキング 第16週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 末松 誠	(大同特殊鋼)	102 点	(13試合)	1 上町 史織	(北國銀行)	89 点	(10試合)
2 門山 哲也	(トヨタ車体)	83 点	(12試合)	2 郭 恵靜	(ソニ一)	70 点	(10試合)
3 東長濱秀作	(湧永製薬)	72 点	(12試合)	3 植垣 曜恵	(メイプルレッズ)	64 点	(10試合)
3 今村 彰伸	(豊田合成)	72 点	(12試合)	4 藤井 紫緒	(オムロン)	62 点	(8試合)
5 豊田 賢治	(大崎電気)	69 点	(13試合)	5 横嶋かおる	(北國銀行)	61 点	(10試合)
6 村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	67 点	(12試合)	5 伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	61 点	(10試合)
7 武田 享	(大同特殊鋼)	65 点	(12試合)	7 高橋 恵	(ソニ一)	57 点	(10試合)
8 小澤 広太	(大崎電気)	63 点	(13試合)	8 高栖 由香	(ソニ一)	48 点	(10試合)
9 銘苅 淳	(トヨタ車体)	62 点	(12試合)	9 高田 裕梨	(オムロン)	44 点	(10試合)
10 中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	60 点	(13試合)	10 若松 里佳	(北國銀行)	42 点	(10試合)
11 神田 友和	(北陸電力)	57 点	(13試合)	10 洪 延昊	(オムロン)	42 点	(10試合)
11 藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	57 点	(13試合)	12 桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	39 点	(10試合)
11 村山 裕次	(琉球コラソン)	57 点	(12試合)	12 菅谷 美奈	(H C 名古屋)	39 点	(10試合)
14 落合 信也	(北陸電力)	56 点	(13試合)	14 工藤 麻衣	(ソニ一)	34 点	(9試合)
14 志慶真龍我	(琉球コラソン)	56 点	(12試合)	14 仲宗根 彩	(北國銀行)	34 点	(10試合)
14 吳 相民	(トヨタ紡織九州)	56 点	(13試合)				

フィールド得点

1 末松 誠	(大同特殊鋼)	92 点	(13試合)	1 郭 恵靜	(ソニ一)	70 点	(10試合)
2 門山 哲也	(トヨタ車体)	83 点	(12試合)	2 上町 史織	(北國銀行)	66 点	(10試合)
3 今村 彰伸	(豊田合成)	72 点	(12試合)	3 横嶋かおる	(北國銀行)	61 点	(10試合)
4 村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	66 点	(12試合)	4 伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	49 点	(10試合)
5 武田 享	(大同特殊鋼)	65 点	(12試合)	4 植垣 曜恵	(メイプルレッズ)	49 点	(10試合)
6 小澤 広太	(大崎電気)	63 点	(13試合)	6 高栖 由香	(ソニ一)	48 点	(10試合)
7 中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	60 点	(13試合)	7 高橋 恵	(ソニ一)	45 点	(10試合)
8 神田 友和	(北陸電力)	57 点	(13試合)	8 高田 裕梨	(オムロン)	44 点	(10試合)
9 吳 相民	(トヨタ紡織九州)	56 点	(13試合)	9 若松 里佳	(北國銀行)	42 点	(10試合)
10 志慶真龍我	(琉球コラソン)	55 点	(12試合)	9 洪 延昊	(オムロン)	42 点	(10試合)
10 豊田 賢治	(大崎電気)	55 点	(13試合)	9 藤井 紫緒	(オムロン)	42 点	(8試合)

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 末松 誠	(大同特殊鋼)	92点/130射 0.708	1 高栖 由香	(ソニ一)	48点/ 55射 0.873
2 小澤 広太	(大崎電気)	63点/ 98射 0.643	2 横嶋かおる	(北國銀行)	61点/ 77射 0.792
3 村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	66点/104射 0.635	3 若松 里佳	(北國銀行)	42点/ 69射 0.609
4 門山 哲也	(トヨタ車体)	83点/141射 0.589	4 洪 延昊	(オムロン)	42点/ 70射 0.600
5 志慶真龍我	(琉球コラソン)	55点/ 95射 0.579	5 高田 裕梨	(オムロン)	44点/ 74射 0.595

7mスロー得点

1 藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	25 点	(13試合)	1 上町 史織	(北國銀行)	23 点	(10試合)
2 銘苅 淳	(トヨタ車体)	24 点	(12試合)	2 藤井 紫緒	(オムロン)	20 点	(8試合)
3 村山 裕次	(琉球コラソン)	20 点	(12試合)	3 植垣 曜恵	(メイプルレッズ)	15 点	(10試合)
4 東長濱秀作	(湧永製薬)	19 点	(12試合)	4 菅谷 美奈	(H C 名古屋)	14 点	(10試合)
5 豊田 賢治	(大崎電気)	14 点	(13試合)	5 高橋 恵	(ソニ一)	12 点	(10試合)
				5 伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	12 点	(10試合)

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 坪根 敏宏	(トヨタ車体)	9本/ 17射 0.529	1 勝田 祥子	(オムロン)	6本/ 13射 0.462
2 東 佑三	(大崎電気)	6本/ 16射 0.375	2 家城 千香	(H C 名古屋)	9本/ 21射 0.429
3 松野 雅崇	(トヨタ紡織九州)	8本/ 23射 0.348	3 堂面 妙子	(メイプルレッズ)	7本/ 18射 0.389
4 石田 孝一	(琉球コラソン)	8本/ 26射 0.308	4 近藤 澄江	(H C 名古屋)	5本/ 18射 0.278
4 東 直明	(大同特殊鋼)	4本/ 13射 0.308	5 寺田三友紀	(北國銀行)	7本/ 27射 0.259

第34回日本ハンドボールリーグ成績表

第16週終了 1月24日

順位	男子	大同特殊鋼	大崎電気	トヨタ車体	トヨタ紡織九州	湧永製薬	豊田合成	琉球コラソン	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼		24 ○ 19	30 27 ○ △ 23 27	35 28 ○ ● 29 29	32 29 ○ ○ 26 25	48 40 ○ ○ 24 19	35 37 ○ ○ 24 19	36 40 ○ ○ 23 24	13	11	1	1	23	441	311	130
2	大崎電気	19 ● 24		36 22 ○ ● 25 30	30 28 △ ○ 30 26	21 25 ● ● 28 27	43 30 ○ ○ 18 19	34 34 ○ ○ 27 27	28 24 ○ ○ 24 18	13	8	1	4	17	374	323	51
3	トヨタ車体	23 27 ● △ 30 27	25 30 ● ○ 36 22		27 31 ● ○ 28 30	32 33 ○ ○ 30 26	30 ○ ○ 24	33 30 ○ ○ 23 27	28 ○ ○ 17	12	8	1	3	17	349	320	29
4	トヨタ紡織九州	29 29 ● ○ 35 28	30 26 △ ● 30 28	28 30 ○ ● 27 31		23 31 △ ● 23 34	40 37 ○ ○ 21 27	36 ○ ○ 28	30 32 ○ ○ 23 23	13	7	2	4	16	401	358	43
5	湧永製薬	26 25 ● ● 32 29	28 27 ○ ○ 21 25	30 26 ● ● 32 33	23 34 △ ○ 23 31		39 ○ 23	37 ○ ○ 26	35 33 ○ ○ 17 16	12	7	1	4	15	363	308	55
6	豊田合成	24 19 ● ● 48 40	18 19 ● ● 43 30	24 ● ● 30	21 27 ● ● 40 37	23 ● ● 39		22 33 △ ○ 22 29	22 24 △ ○ 22 17	12	2	2	8	6	276	397	-121
7	琉球コラソン	24 19 ● ● 35 37	27 27 ● ● 34 34	23 27 ● ● 33 30	28 ● ● 36	26 ● 37	22 29 △ ● 22 33		33 27 ○ ○ 29 18	12	2	1	9	5	312	378	-66
8	北陸電力	23 24 ● ● 36 40	24 18 ● ● 28 24	17 ● ● 28	23 23 ● ● 30 32	17 16 ● ● 35 33	22 17 △ ● 22 24	29 18 ● ● 33 27		13	0	1	12	1	271	392	-121

順位	女子	オムロン	北國銀行	ソニーセミコンダクタ九州	三重バイオレットアイリス	広島メイプルレッズ	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン		25 21 ● ○ 30 19	27 36 ● ○ 28 21	23 28 ○ ○ 16 19	33 36 ○ ○ 17 15	40 37 ○ ○ 11 14	10	8	0	2	16	306	190	116
2	北國銀行	30 19 ○ ● 25 21		33 23 ○ ● 27 31	29 30 ○ ○ 21 18	34 31 ○ ○ 28 22	37 31 ○ ○ 16 15	10	8	0	2	16	297	224	73
3	ソニーセミコンダクタ九州	28 21 ○ ● 27 36	27 31 ● ○ 33 23		32 35 ○ ○ 20 28	45 39 ○ ○ 26 24	42 42 ○ ○ 15 20	10	8	0	2	16	342	252	90
4	三重バイオレットアイリス	16 19 ● ● 23 28	21 18 ● ● 29 30	20 28 ● ● 32 35		27 21 ● ○ 28 15	30 31 ○ ○ 15 16	10	3	0	7	6	231	251	-20
5	広島メイプルレッズ	17 15 ● ● 33 36	28 22 ● ● 34 31	26 24 ● ● 45 39	28 15 ○ ● 27 21		36 33 ○ ○ 20 13	10	3	0	7	6	244	299	-55
6	HC名古屋	11 14 ● ● 40 37	16 15 ● ● 37 31	15 20 ● ● 42 42	15 16 ● ● 30 31	20 13 ● ● 36 33		10	0	0	10	0	155	359	-204

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。